

平成31年3月4日（月）
国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

記者発表資料

「H30大宮国道管内標識改修工事」において 「間接工事費実績変更方式」を試行 「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「H30大宮国道管内標識改修工事」は、共通仮設費（率分）の一部に標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、以下の①、②について試行を行います。

①「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費・安全費について、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

②「施工箇所が点在する積算方法」

本工事は、施工箇所が点在することから、資機材を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局	電 話	048 -600 -3151（代）	
技術管理課 課長補佐	おのの ひろゆき 大野 宏之	（内線 3312）	
国土交通省関東地方整備局	大宮国道事務所	電 話	048 - 669 - 1200（代）
副所長（技）	こかん ひろゆき 後閑 浩幸	（内線 205）	}
交通対策課長	こうち やすゆき 河内 泰幸	（内線 471）	

対象工事の内容について

《工事概要》

- (1) 工 事 名：H30大宮国道管内標識改修工事
- (2) 工事場所：大宮国道事務所管内
- (3) 工 期：契約の翌日から平成31年10月31日まで（予定）
- (4) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価Ⅱ型）
- (5) 工事種別：維持修繕工事
- (6) 工事内容（概要）
 - 大型標識工（板取替） 1 式
 - 大型標識工（部分修正） 1 式
 - 小型標識工（板取替） 1 式
 - 小型標識工（部分修正） 1 式

(7) 実績により変更を行う工種

共通仮設費（率分）のうち、運搬費及び安全費

(8) 実績により変更を行う理由

本工事は、オリンピックパラリンピック競技大会に向けた取り組みとして、国道4、16、17号における道路案内標識の改修を行う工事である。

本工事は、オリンピックパラリンピック競技大会に向けた取り組みとして、国道4、16、17号における道路案内標識の改修を行う工事である。本工事は、オリンピックパラリンピック競技大会に向けた取り組みとして、国道4、16、17号における道路案内標識の改修を行う工事である。本工事は、オリンピックパラリンピック競技大会に向けた取り組みとして、国道4、16、17号における道路案内標識の改修を行う工事である。

施工は、交差点の地点名標識、案内標識の板取替・部分修正であり、現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら施工しなければならず、小規模な工事箇所が点在するため、規制帯を複数回設置することとなり、施工効率が著しく低下する。

また、沿道全域に店舗・住宅等が連担し、施工箇所周辺に資機材置場の確保も困難であることから、その都度資機材搬入が必要となる。

以上のことから、安全費及び運搬費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が予想されるため、「間接工事費実績変更方式」を採用する。

(9) 施工箇所が点在する積算

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

《スケジュール》

○入札公告：平成31年3月 5日（火）

○入 札 日：平成31年4月18日（木）